

八木西口駅の西側の今井町に入る道路、今井小学校から小綱町への学校通りなど、市民が安全対策を要望しているところが多くある。第3次総合計画後期基本計画の道路改良率の目標値は毎年1%に満たないが、道路整備、安全対策をどう進めるのか。

答 道路改良率は、新たに認定された道路も含め、目標値である67.5%に達している。八木中学校北側市道路のエンズ橋北側交差点の安全対策は、これまでに交差点の路面表示の改良を重ね、路側にグリーン帯を設置した。八木西口駅からの今井町へ向かう道路は歩道の連続性がないが整備中であり、あわせて複雑な交差点の安全対策などに関係機関と協議して進めたい。今井小学校からの道路は、今井町伝統的建造物群保存地区内の古くからの道路であり、大胆な拡幅整備は性質上難しく、十分な安全対策ができていない。今後の対策は関係部署や関係機関、地域住民と十分に調整して進めたい。安全・安心な道路の利用と住みやすいまちづくりができるよう、引き続き整備を進めたい。

問 自転車活用推進法が本年5月に施行された。14の基本方針の第1に専用道路等の整備があるが、市内道路でどのように施策を進めるのか。

答 本市はそれぞれの道路環境に応じ、自転車の通行位置を示す通行帯やサインの設置などで柔軟に対応している。自転車活用は「低炭素で、災害時に機動的であり、健康増進、交通混雑の緩和」の効果があり、全国的に地域振興の取り組みとして展開されており、活用や道路整備は総合的・計画的に進めたい。



歩道線飛鳥停車場東口宮原神原道

問 自転車の安全利用の地方自治体の責務について、市長の考えは。

答 我々の地域は車より自転車でゆっくり走ったほうが似

合うとの共通理解があると思うので、自転車道を意識して道路整備をする必要がある。特に明日香へ向かう道は優先的にすべきと思っており、本市にふさわしい自転車道や歩道をつくっていききたい。

一般質問
原山 大亮
（いずれの会にも所属しない議員）
（日本維新の会）

小・中学校の暑さ対策

問 5月は例年以上に暑い日が続いたが、小・中学校の児童生徒の体調管理への対応は。

答 扇風機の活用、小まめな換気、よしやすだれ、ミストシャワーの活用などに取り組み、小まめに水分補給をするよう指導している。

問 保護者等から要望の多いエアコン設置について、3月議会ではいろいろな観点から検討したいとのことだったがどう取り組んだのか。

答 小・中学校の普通教室全てにエアコンを設置する費用を試算中だが、エアコン本体だけでなく、キュービクル改

修等の電源工事も必要になる見方も出ている。財源、工期、騒音等の問題もあり、従来工法だけでなく、レンタル等より有利な方法も検討している。

問 奈良県はエアコン設置率が低いと聞くが、他市の設置状況は。

答 文部科学省の調査で、平成29年4月1日時点の小・中学校普通教室のエアコン設置率の全国平均は49.6%、設置率が10%未満の都道府県は7.4%の奈良県を含み10道県であった。葛城市の中学校普通教室の設置率が100%、五條市の中学校普通教室の設置率が75.7%と高いが、それ以外の県内他市は、葛城市、五條市の小学校も同様に大差がなかった。

問 一番の問題は財源だが、国の制度等は。

答 補助金は、文科省の大規模改造事業の中に補助率3分の1の規定があるが、現在は耐震対策等に優先的に充てられており、エアコン設置は採択されにくい状況である。

問 財源等の問題を整理して早期にエアコンを設置してもらいたい、クールダウンのためのエアコン設置の進捗は。

答 公立の単独幼稚園10園の1部屋ずつに設置するための設計業務を実施中であり、来年度に使用できるよう早期に工事を実施したい。小・中学校は、幼稚園に引き続き実施予定である。

市の財政状況

問 全国と同様に本市も人口は減少傾向にあり、市の税収にも影響を及ぼすと考えるが、市の考えは。

答 平成24年から28年にかけて人口は51,624人、13%の減少となったが、市税収入は24年度から28年度にかけて5億1,191万3,000円、3.4%の増となった。税収が増加した要因は、国全体での景気の上昇、雇用情勢改善などとともに、近隣自治体に比べて人口減少が少なかったことなどがある。

問 長い目で見ると人口減少が進めば税収は先細りになると予測されるが、今後どのように歳入歳出のバランスをキープしていく考えか。

答 効率的な財政運営のため、市の進む方向を明確にして事